

*IT Solution for You!*

PCI Holdings, Inc.



**PCIホールディングス株式会社**  
(東証プライム市場：3918＝サンキュー<愛が>いっぱい)

2022年9月期 決算説明資料

2022.11.24

# ステークホルダーの皆様へ

当社は2005年に創業し、IT関連事業を営む連結子会社を傘下に置く**まだ若い純粋持株会社**です。ITをもって「**安心・安全・豊かな社会に貢献する会社**」を目指す、特徴のある企業が4つの事業領域を展開しております。

**エンベデッドソリューション事業**では、車載関係・**自動運転(AD・ADAS)・EV**等の自動車関連の各種開発案件のほか、スマートフォンに関連する通信制御、重機・建機、デジカメをはじめとする情報家電等の組込みソフトウェアの開発、**VR/ARやAI**等の先端技術開発へのソフトウェア技術提供と研究開発、各種製造・検査機器等への企画・設計・開発・検査・製造・保守の**川上から川下までのワンストップソリューション**を提供しています。

**ビジネスソリューション事業**では、技術オリエンテッドな事業展開を強みに、金融や流通、製造業等の幅広い業種へのITシステムを提供し、**DX推進**にも貢献しています。

**IoT/IoEソリューション事業**は、電気通信事業者識別番号「**0067**」をTV応募やアンケート等で活用いただくサービス、LINEスタンプなどモバイルコンテンツを制作・配信する独自ブランド、位置情報を活用した効率的なITサービスの提供など特徴あるICTサービスのほか、サイバーセキュリティ領域へも注力しています。

**半導体トータルソリューション事業**は、大手半導体メーカー様に対し、LSI設計、テスト、評価等の半導体開発全般のサービスを提供しています。

当社は2020年11月に売上高300億円を目標に掲げた**新中期経営計画「PCI-VISION 2023」**を発表、さらに経営環境の変化に対応すべく2022年4月1付で**代表取締役1名体制から2名体制へと変更**いたしました。

これからも、**M&A戦略**を実行しながら、有言実行でさらなる成長を目指してまいります。引き続きご支援のほど、よろしくお願いいたします。



代表取締役会長 天野豊美

# 目次

1. エグゼクティブサマリー
2. 2022年9月期 通期業績
3. 2022年9月期 トピックス
4. 2023年9月期 通期業績予想
5. 中期経営計画の進捗状況
6. PCI's SDGs
7. Company Profile
8. Appendix

売上高  
**251.7**億円  
(前期比+18.5%)

営業利益  
**14.4**億円  
(前期比+23.0%)

親会社株主に帰属する  
当期純利益  
**6.4**億円  
(前期比▲4.0%)

## 【事業環境】

IoT/IoE、AI等の**先端技術を活用したDXの加速による情報システム需要**に加え、新型コロナウイルス感染症対策に伴う、テレワーク導入企業の増加による**ITインフラ整備・強化、非接触対応等への優先的なソフトウェア投資**が継続し、IT投資需要は底堅く推移。

一方、一部事業において、**急速な円安による為替の影響及び世界的な電子部品の供給不足が生産計画に影響。**

## 【実行戦略】

2期目となる中期経営計画「PCI-VISION 2023」を推進する中、**時流を勘案した選択と集中**を目的とした**グループ内再編**を実施

## 【サステナビリティ】

**サステナビリティへの取り組みを一層強化し、当社グループの持続的成長を実現するため、新たにサステナビリティ委員会を設置**

# 2022年9月期 通期業績



# 連結貸借対照表 (B/S)

- ・ 棚卸資産はソードにより増加。現預金の減少は借入金返済によるもの
- ・ 自己資本比率は45.9%に向上（前連結会計年度末は42.8%）

(百万円)	21/9期末	22/9期末
<b>流動資産</b>	<b>11,198</b>	<b>11,205</b>
現預金	3,310	2,629
売上債権	6,085	6,123
棚卸資産	1,291	1,627
その他	512	824
<b>固定資産</b>	<b>6,193</b>	<b>5,709</b>
のれん	2,299	2,150
投資有価証券	1,403	1,123
その他	2,490	2,435
<b>資産合計</b>	<b>17,391</b>	<b>16,915</b>

(百万円)	21/9期末	22/9期末
<b>流動負債</b>	<b>6,505</b>	<b>6,509</b>
仕入債務	2,787	2,979
借入・社債	868	872
その他	2,849	2,657
<b>固定負債</b>	<b>2,935</b>	<b>2,031</b>
借入	1,925	1,052
退職給付に係る負債	135	128
その他	875	850
<b>負債合計</b>	<b>9,441</b>	<b>8,541</b>
<b>純資産合計</b>	<b>7,950</b>	<b>8,374</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>17,391</b>	<b>16,915</b>

# 連結キャッシュ・フロー（CF）

(百万円)	21/9期	22/9期
<b>営業活動によるCF</b>	<b>948</b>	<b>736</b>
税金等調整前当期純利益	1,211	1,175
減価償却費	155	197
のれん償却額	154	192
売上債権増減	3	69
棚卸資産増減	▲276	▲470
仕入債務増減	25	191
その他	▲326	▲619
<b>投資活動によるCF</b>	<b>▲3,364</b>	<b>▲193</b>
有形固定資産取得	▲42	▲108
投資有価証券取得	▲143	▲51
連結の範囲変更を伴う子会社株式の取得による支出	▲3,090	—
その他	▲88	▲32
<b>フリーキャッシュフロー</b>	<b>▲2,416</b>	<b>542</b>

(百万円)	21/9期	22/9期
<b>財務活動によるCF</b>	<b>848</b>	<b>▲1,227</b>
借入金及び社債の増減	▲934	▲868
配当金の支払い	▲254	▲310
株式の発行による収入	2,091	—
その他	▲53	▲48
<b>現金及び同等物の期末残高</b>	<b>3,298</b>	<b>2,617</b>

## 【営業活動によるCF】

- ・税金等調整前当期純利益1,175百万円、減価償却費197百万円、のれん償却額192百万円、投資有価証券評価損310百万円
- ・棚卸資産の増加470百万円、未払消費税等の減少129百万円、法人税等の支払額542百万円

## 【投資活動によるCF】

- ・有形固定資産の取得による支出108百万円

## 【財務活動によるCF】

- ・長期借入金の返済による支出868百万円、配当金の支払額310百万円

# 連結損益計算書サマリー (P/L)

- 既存ビジネスに加え、前期子会社化した**ソードの業績が通期寄与**。売上高・各段階利益が前期比大幅増
- 保有有価証券のうち実質価額が著しく下落したものについて「有価証券評価損」を特別損失に計上

(百万円)	21/9期		22/9期		
	通期	売上高比率	通期	売上高比率	前期比増減
売上高	21,248	100.0%	<b>25,170</b>	<b>100.0%</b>	+18.5%
売上総利益	5,693	26.8%	<b>6,340</b>	<b>25.2%</b>	+11.4%
販管費	4,519	21.3%	<b>4,895</b>	<b>19.4%</b>	+8.3%
営業利益	1,174	5.5%	<b>1,445</b>	<b>5.7%</b>	+23.0%
経常利益	1,208	5.7%	<b>1,549</b>	<b>6.2%</b>	+28.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	669	3.2%	<b>643</b>	<b>2.6%</b>	▲4.0%
EPS	76.12	-	<b>63.97</b>	-	▲15.9%



# 事業別の概況

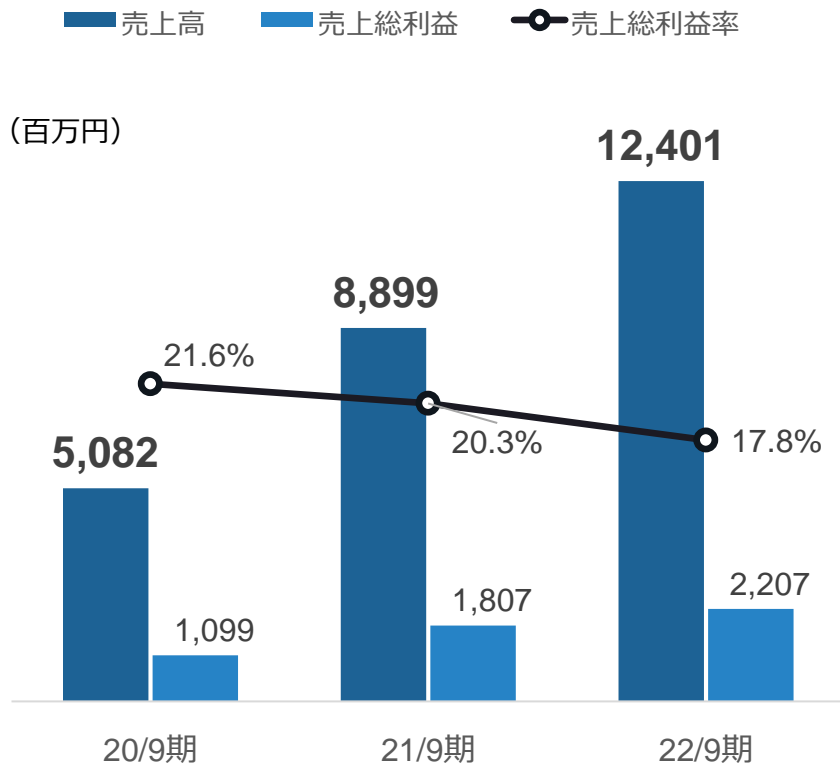
- エンベデッドソリューション分野においては、**ハードウェア領域における部品価格の上昇及び急速な円安の影響**があったものの、**自動車関連及び建機重機向けソフトウェア開発が好調**に推移し前期比増。
- ビジネスソリューションの企業向け分野では、前連結会計年度に発生した**不採算案件の終息**により利益及び利益率が**増加・改善**したことに加え、**文教関連事業の戦略的撤退による売上減少分も吸収**。

売上高 (百万円)	21/9期	22/9期	売上比率	前期比
ITソリューション事業 (A+B)	16,758	<b>20,494</b>	81.4%	+22.3%
エンベデッドソリューション (A)	8,899	<b>12,401</b>	49.3%	+39.3%
ビジネスソリューション (B)	7,858	<b>8,092</b>	32.2%	+3.0%
IoT/IoEソリューション事業	2,428	<b>2,350</b>	9.3%	▲3.2%
半導体トータルソリューション事業	2,049	<b>2,325</b>	9.2%	+13.4%
<b>合計</b>	<b>21,248</b>	<b>25,170</b>	<b>100.0%</b>	<b>+18.5%</b>

※21/9期は、調整額11百万円を含まず

※セグメント間を含まず

# 事業別業績：エンベッドソリューション



売上高 **12,401** 百万円  
(前期比+39.3%)

売上総利益 **2,207** 百万円  
(前期比+22.1%)

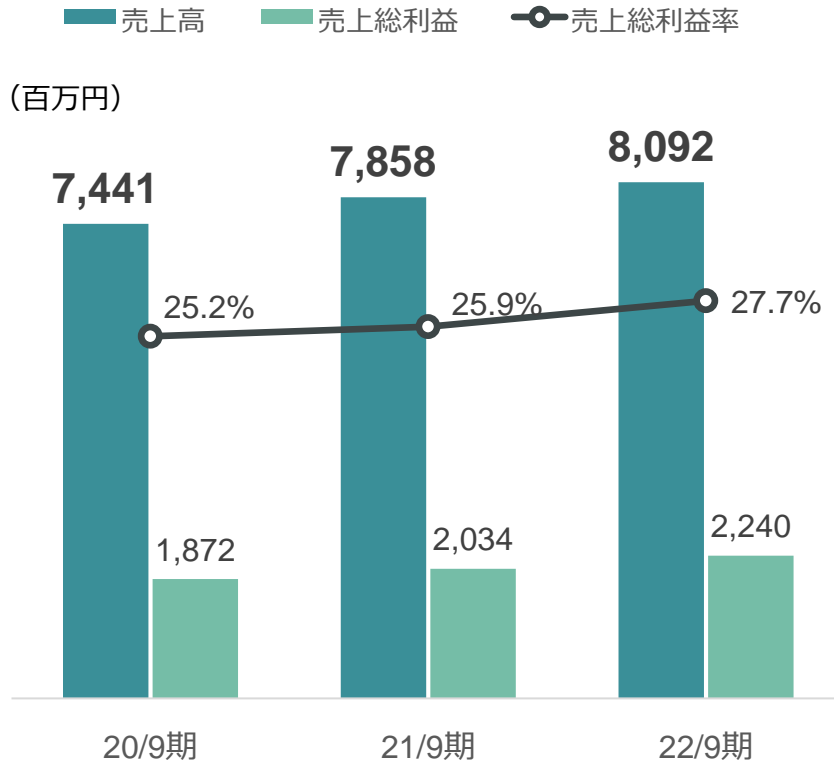
※セグメント間を含まず

- 自動車関連案件が好調に推移した他、カメラ・センサー系開発案件、制御装置案件が増大
- ソードが展開する医療向け組込みパソコン、コントローラー及び周辺機器の開発、設計、製造が収益に寄与
- 世界的な電子部品の供給不足及び部品価格の高騰により、一部の生産計画に大きな影響

\*当事業に計上される主な子会社

PCIソリューションズ、プリバテック、ソード内の関連事業

# 事業別業績：ビジネスソリューション



## 売上高

**8,092**百万円  
(前期比+2.8%)

## 売上総利益

**2,240**百万円  
(前期比+10.1%)

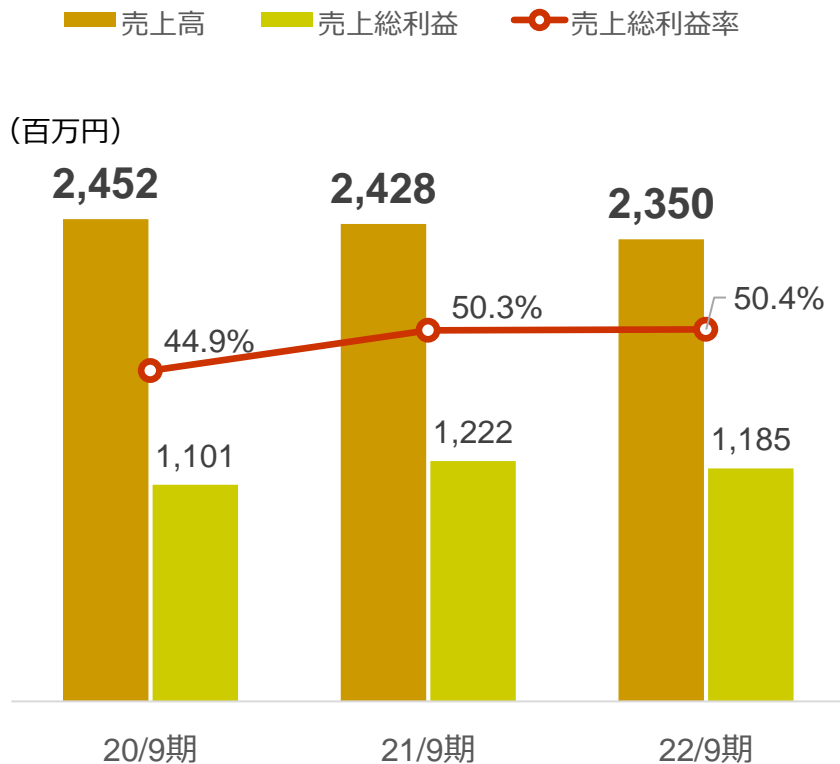
※セグメント間を含まず

- 企業のDXの推進加速を背景に、システムのクラウド化案件が増加
- ソフトウェア開発における産業・流通向け案件が堅調に推移し、社会インフラ構築案件が好調に推移
- 前連結会計年度に新たに連結子会社となったソードが展開するキッティング業務等の請負案件が収益に寄与

\*当事業に計上される主な子会社

PCIソリューションズ、シー・エル・シー、リーふねっと、ソード内の関連事業

# 事業別業績：IoT/loEソリューション



売上高

**2,350**百万円  
(前期比▲3.2%)

売上総利益

**1,185**百万円  
(前期比▲3.0%)

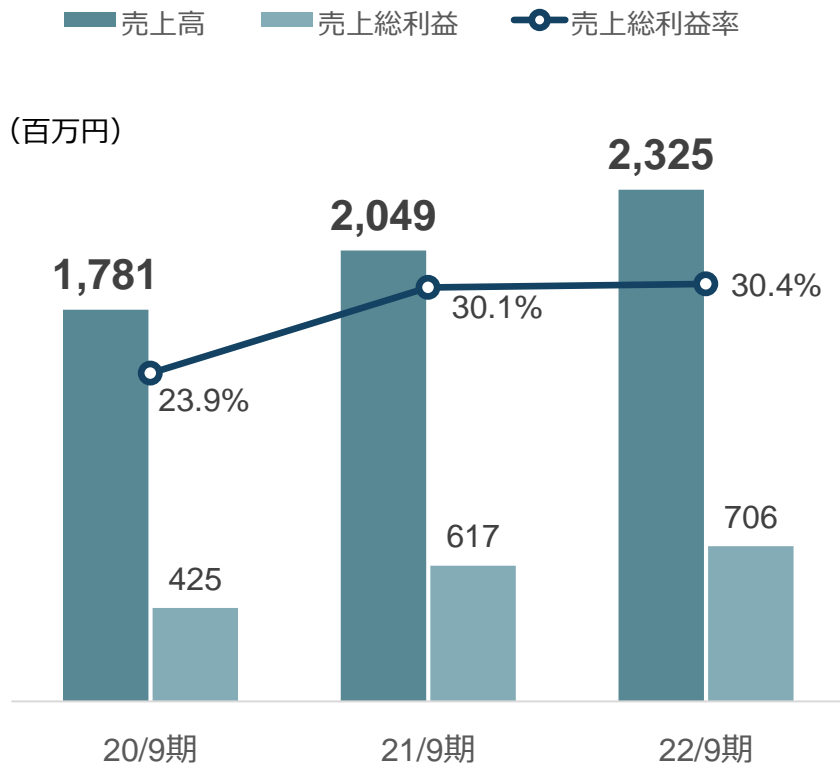
※セグメント間を含まず

- 重機・建機向けIoT開発が堅調に推移したことに加え、セキュリティ案件が増加
- 売上高は、低採算事業を戦略的に縮小したことに加え、通信事業の減少により前期比減

\*当事業に計上される主な子会社

PCIソリューションズ、リーふねっと、プリバテック内の関連事業

# 事業別業績：半導体トータルソリューション



売上高

**2,325**百万円  
(前期比+13.4%)

売上総利益

**706**百万円  
(前期比+14.4%)

※セグメント間を含まず

- 世界的な半導体供給不足を背景とした生産ライン強化に伴い基板案件の引き合いが増加し、収益に大きく寄与
- グループ間及び協業企業との連携による案件の継続受注等、総じて好調に推移
- 新技術の開発及び自社製品の実用化に向けて継続的な研究開発投資を実行

\*当事業に計上される主な子会社  
プリバテック内の関連事業

# 2022年9月期 トピックス



# ①メタバース・Web3時代を代表するDX人材の育成を加速

当社業務提携先である（株）ORENDA WORLDが運営する教育プラットフォーム  
「LEVEL BOOST（レベルブースト）」へ参画。

PCI NETWORK

Press Release

2022年7月19日

報道関係者各位

PCIホールディングス株式会社  
(東証プライム:3918)  
株式会社 ORENDA

「地方創生×クリエイター育成」

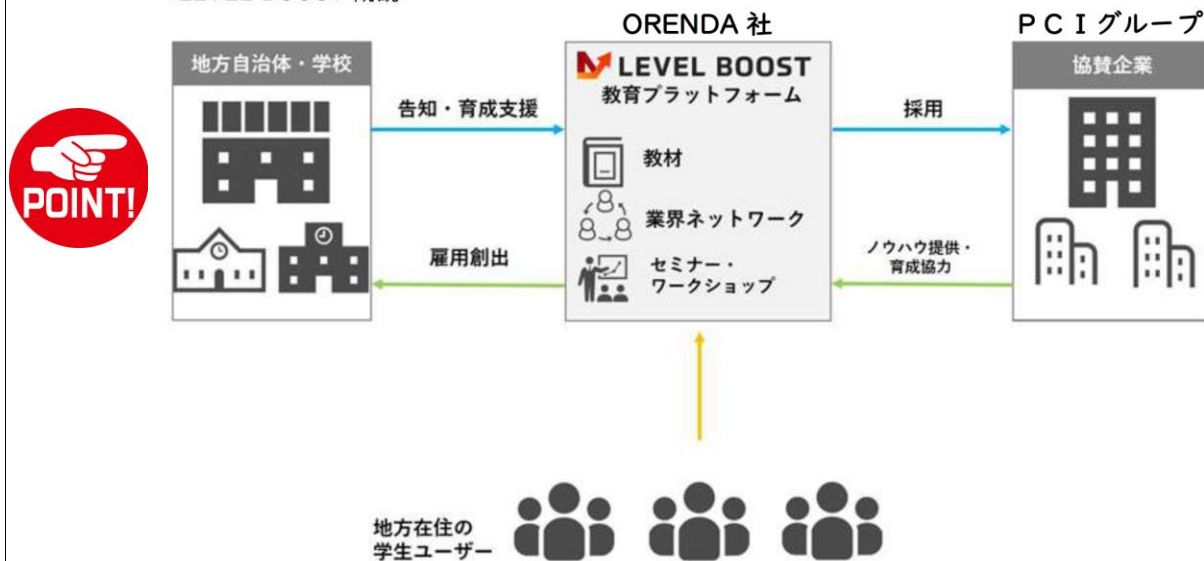
教育プラットフォーム“LEVEL BOOST”参画のお知らせ  
-メタバース・Web3時代を代表するDX人材の育成を加速-

PCIグループは、業務提携先である株式会社 ORENDA（東京都港区、代表取締役 益谷 陽史、以下 ORENDA 社）が運営する教育プラットフォーム「LEVEL BOOST」（レベルブースト）へ参画いたしますのでお知らせします。



LEVEL BOOST

<LEVEL BOOST 概観>



## ②「AIによる車両検知開発」の実用化

当社連結子会社P C Iソリューションズが提供する  
**後方接近車両検知システム**が（株）パトライトのカタログに掲載（ハードウェアの一部はソードが提供）



高速道路での作業中、接近車両検知・報知に人手を使い危険な他、いち早く作業員を避難させたい。

### > これで解決!

標識車に後方警戒AIカメラシステムを搭載し危険車両を自動検知、車両搭載のパトライト製サイレンアンプの大音量高警告音+散光式警光灯の光で作業者のいち早い危険回避行動を促進。

### 機器構成



高警告サイレン搭載  
電子サイレンアンプ SAP-520型



LED散光式警光灯 ALS型



補助警告灯 LPT型



PCIソリューションズ製  
AIカメラシステム一式



[https://www.patlite.jp/catalog/vbb03/index\\_h5.html#8](https://www.patlite.jp/catalog/vbb03/index_h5.html#8)



# ③SMS（ショートメッセージ）配信サービス開始

当社連結子会社リーふねっとが展開するSMS配信サービス「FourS Message（フォースメッセージ）」が  
(株)リンクのクラウド型コールセンターシステム「BIZTEL」と提携を開始

※コールセンターの応答待ちのコールに対してSMSによる新たな応対フローを実現

## FourS Message FourS Messageの特長

### 携帯キャリア直接接続

国内キャリアと直接（直取）接続のため、より確実にSMSを届けられます。

### API対応

お客様のシステムとAPI接続によって自動連携し、Web管理画面を介することなくSMSを自動送信することが可能です。

### 長文対応

通常70文字上限を最大で全角660文字までの送信が可能。  
※70文字を超える場合、docomoは66文字、KDDI・楽天は67文字単位で1通分の課金となります。

### 携帯キャリア追跡

送信先のキャリアを自動で判別します。同一番号でキャリアが変わった場合も変更を自動で認識し送信結果に反映されます。

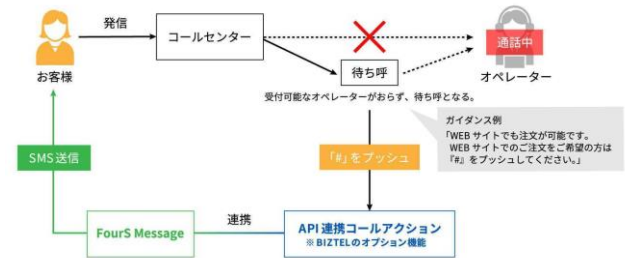
### 短縮URL

長いURLを20文字の短縮URLへと変換することができます。また、短縮URLのクリック数を確認することも可能です。

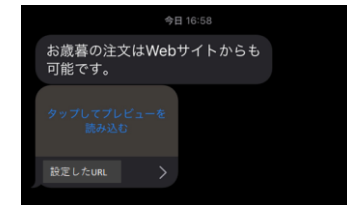
### 業界最安値

1通あたり～8円と、SMS配信サービスの中では業界最安値水準で高品質なサービスをご提供します。

## 応対フローのイメージ



## 送信メッセージの例



※「FourS Message」：4つのS（STABLE/安定している、SECURE/安全である、SPEEDY/迅速である、SUSTAINABLE/持続可能である）を特長とするSMS（ショートメッセージ）配信サービス。各携帯キャリアの通信網と直接接続することで、セキュアな環境から安定して配信できることに加え、一括配信や配信予約の設定、着信状況（送信完了・圏外・電源offなど）の把握、短縮URLの挿入・クリック計測など、顧客とのコミュニケーションをサポートするさまざまな機能が利用可能。


## ④組織体制の強化及び働き方改革の推進の推進

- ・ 上場来の研究開発投資実績（ITソリューション及び半導体トータルソリューション）

	2015.9期	2016.9期	2017.9期	2018.9期	2019.9期	2020.9期	2021.9期	2022.9期
<b>ITソリューション</b>								
ディペンダビリティ	*							
スマートコミュニティ	*							
再エネO&M	*							
ID連携フレームワーク	*							
V2X	*	*	*	*	*	*	*	
V-Low	*	*						
A-ya		*	*	*	*			
位置情報			*	*	*	*	*	*
AR/VR/MR			*					
AI					*	*	*	*
AI画像認識							*	*
ネットワークカメラ							*	*
発電設備点検							*	*
<b>半導体トータルソリューション</b>								
高積載VLSI			*	*	*	*	*	*
センサーモジュール				*	*	*	*	*

# ⑤ サステナビリティ委員会の設置

社会と企業の持続可能性の両立を目指し、サステナビリティへの取り組みを一層強化し、当社グループの持続的成長を実現するため、代表取締役社長を委員長とする「サステナビリティ委員会」を設置。持続可能な社会の実現と中長期的な企業価値の向上を目指す。(2022年7月27日適時開示)



2022年7月27日

各位

会社名 PCIホールディングス株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 横山 邦男  
 (コード番号:3918 東証プライム)  
 問合せ先 取締役経営企画本部長 井口 直裕  
 (TEL.03-6858-0530)

**サステナビリティ委員会の設置に関するお知らせ**

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり、サステナビリティ委員会の設置について決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

- サステナビリティ委員会設置の目的
 

当社は、サステナビリティを語る課題への対応が経営の重要課題であると認識し、重要課題の解決に向けた取り組みを積極的かつ継続的に実行することにより、持続可能な社会の実現と中長期的な企業価値の向上を目指しております。

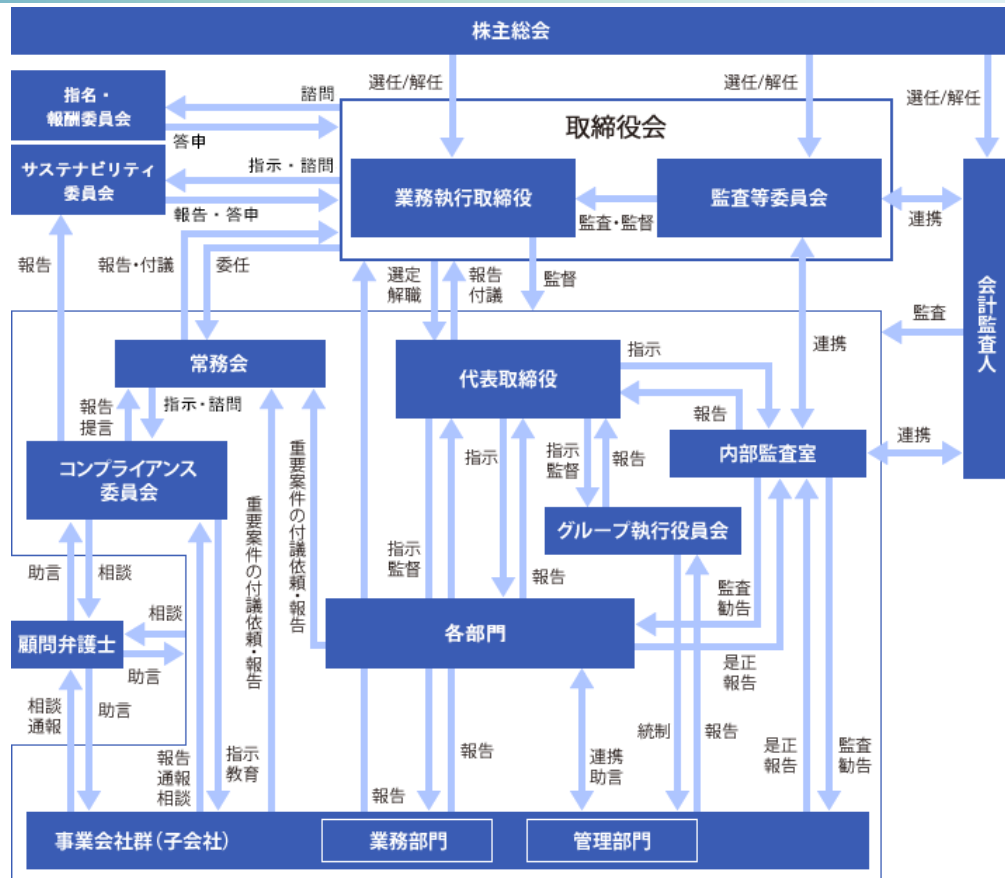
この度、社会と企業の持続可能性の両立を目指し、サステナビリティへの取り組みを一層強化し、当社グループの持続的成長を実現するため、代表取締役社長を委員長とする「サステナビリティ委員会」を設置することといたしました。
- サステナビリティ委員会の役割
 

本委員会は、サステナビリティに関する基本方針や重要課題（マテリアリティ）の特定、重要課題に基づく目標設定や進捗管理、サステナビリティに関する全社教育や浸透活動の推進、情報開示に関する事項等の審議を行い、定期的に取締役会へ報告・提言を行います。
- サステナビリティ委員会の構成
 

本委員会は、代表取締役社長が委員長を務め、管理部門管理取締役及び経営企画部門管理取締役が副委員長を務めます。また、各グループ会社代表取締役（当社執行役員）及び当社関連部署責任者を委員とすることで事業との連動性を強化する体制といたします。加えて、サステナビリティ活動を推進するため、委員長によりグループ会社役員で構成されるワーキンググループを設置し、全グループを挙げて取り組み体制を構築いたします。
- サステナビリティ委員会の設置日
 

2022年7月27日

以上



# 2023年9月期 通期業績予想



# 当社が手掛ける4つの事業領域

- ソフトウェア開発から半導体事業まで、ソフトとハードにまたがる横断的な4事業を展開、ソフトとハード、両面に知見・技術力を有するのが当社の強み

ソフト重視

ハード重視

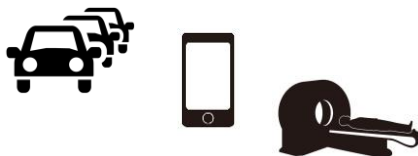
## ビジネスソリューション事業



金融、製造業、官公庁系など、社会のインフラを支える幅広い業態のITシステムを構築

■ 関連市場  
ソフトウェア開発、DX等、ICT投資全般

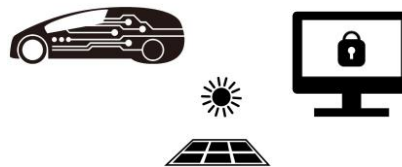
## エンベデッドソリューション事業



自動車、情報家電、モバイル端末や医療用MRI等に組み込まれるソフトウェア開発並びにハードウェアの設計・テスト・企画・製造・販売・保守

■ 関連市場  
DX、IoT、自動車、半導体、医療等

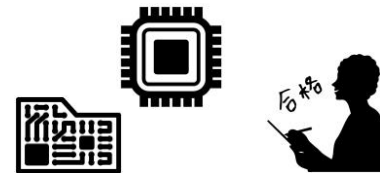
## IoT/IoEソリューション事業



自動車業界やエネルギー業界向けのIoTソリューションを開発。位置情報やAR/VR技術の応用も行う

■ 関連市場  
IoT、通信、エネルギー、AR/VR等

## 半導体トータルソリューション事業

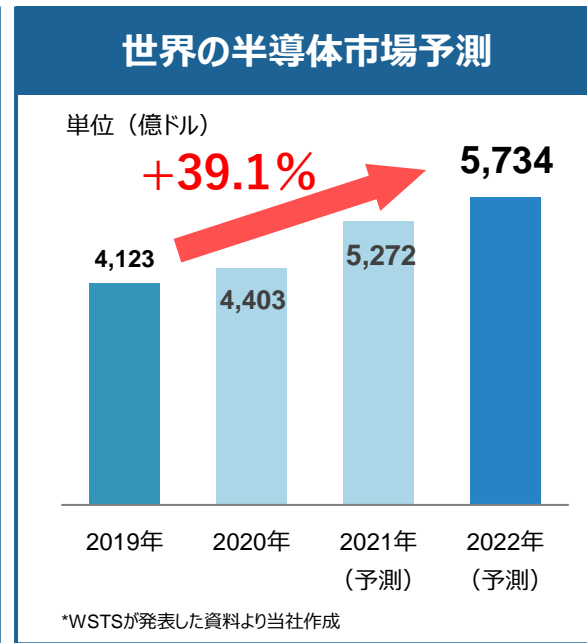
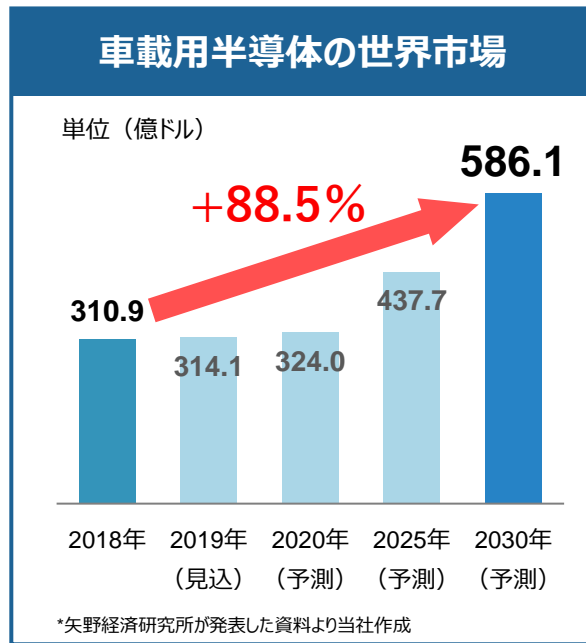
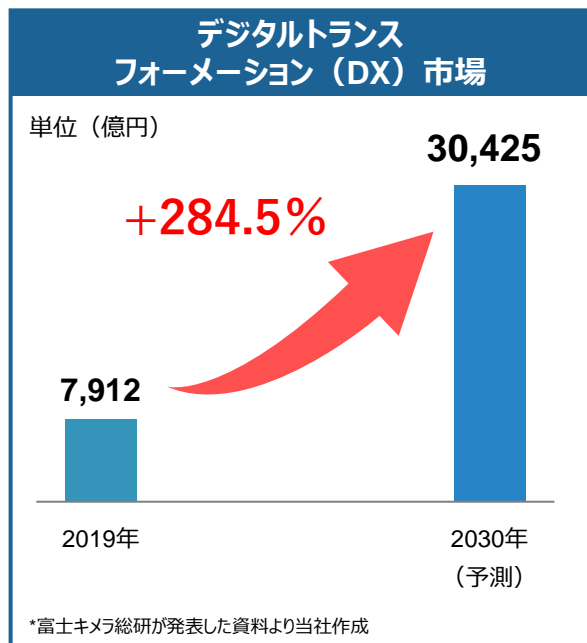


情報社会に必須の半導体分野において、設計からテスト等、開発全般にかかわるサービスを提供

■ 関連市場  
半導体、IoT、通信等

# 事業別マーケット概況

- 社会のデジタル化はコロナ禍により加速し、DX市場は右肩上がりに推移
- 急速なデジタル化やEV化、自動運転の本格化により、車載用半導体などや半導体市場も長期的に好調に推移する見込みであり、ソフトとハード両面の市場が成長ターゲットとなる



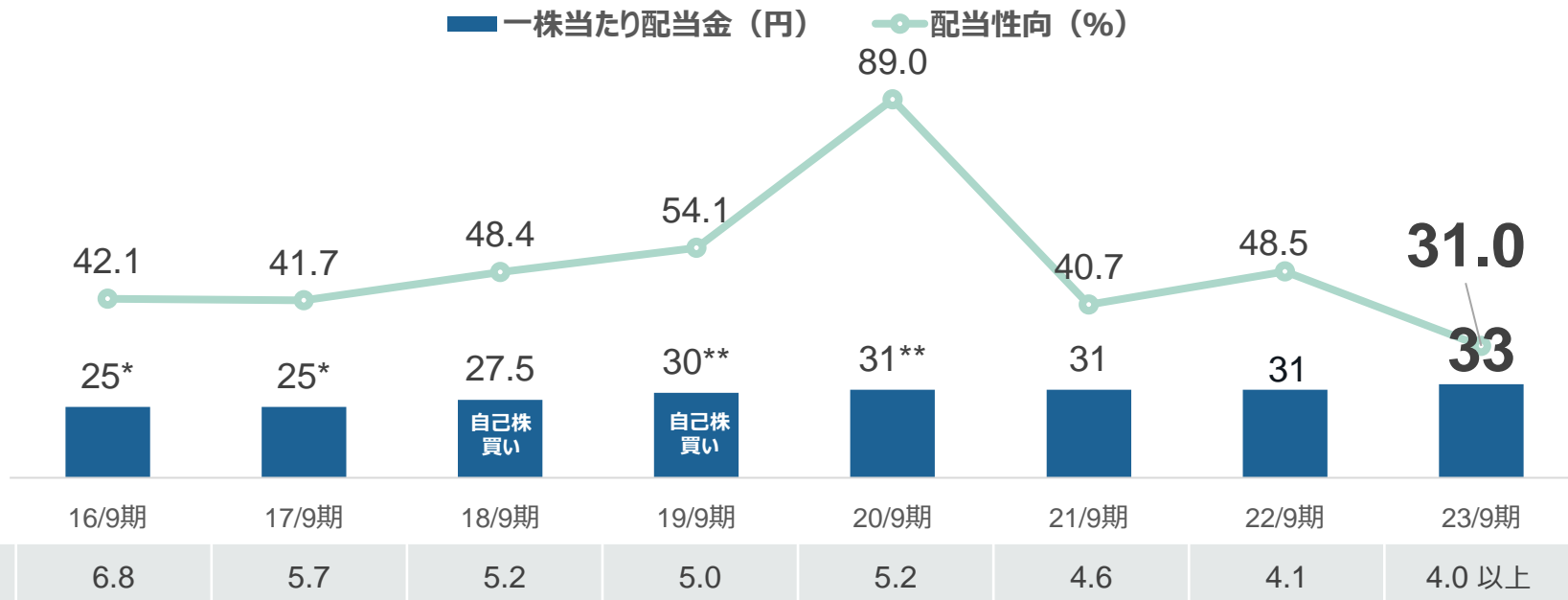
# 2023年9月期 業績予想

事業環境は、IoT、AI、メタバース等、社会全体で急速に進展するデジタル化・DX化の加速によるIT投資需要を背景に堅調に推移するものと見込む

(百万円)	22/9期 実績	23/9期 予想	前期比
売上高	25,170	30,000	+19.2%
営業利益	1,445	1,800	+24.6%
(営業利益率)	5.7%	6.0%	+0.3pt
経常利益	1,549	1,830	+18.1%
(経常利益率)	6.2%	6.1%	▲0.1pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	643	1,070	+66.4%
(同利益率)	2.6%	3.5%	+0.9pt
EPS	63.97円	106.34円	+66.2%

# 株主還元について

- 連結配当性向は30%~50%を目安に設定、上場来30%超を維持
- 安定した配当を継続しながら、総合的な還元の向上を目指す



\*16/9期は記念配を含む (記念配 16/9期: 5円)

\*\*自己株式取得の実績 18/9期: 約1.4億円分の取得 19/9期: 約2.3億円分の取得

\*\*\*2016年4月1日付で1:2、2020年4月1日付で1:2の株式分割を実施、グラフは当該分割を遡及して修正



# 中期経営計画の進捗状況



## ソフト・ハードを問わず、 顧客のあらゆるITニーズに対応する ワンストップソリューションの確立

エンベデッドソリューション  
製品設計・テスト  
企画・製造・販売・保守



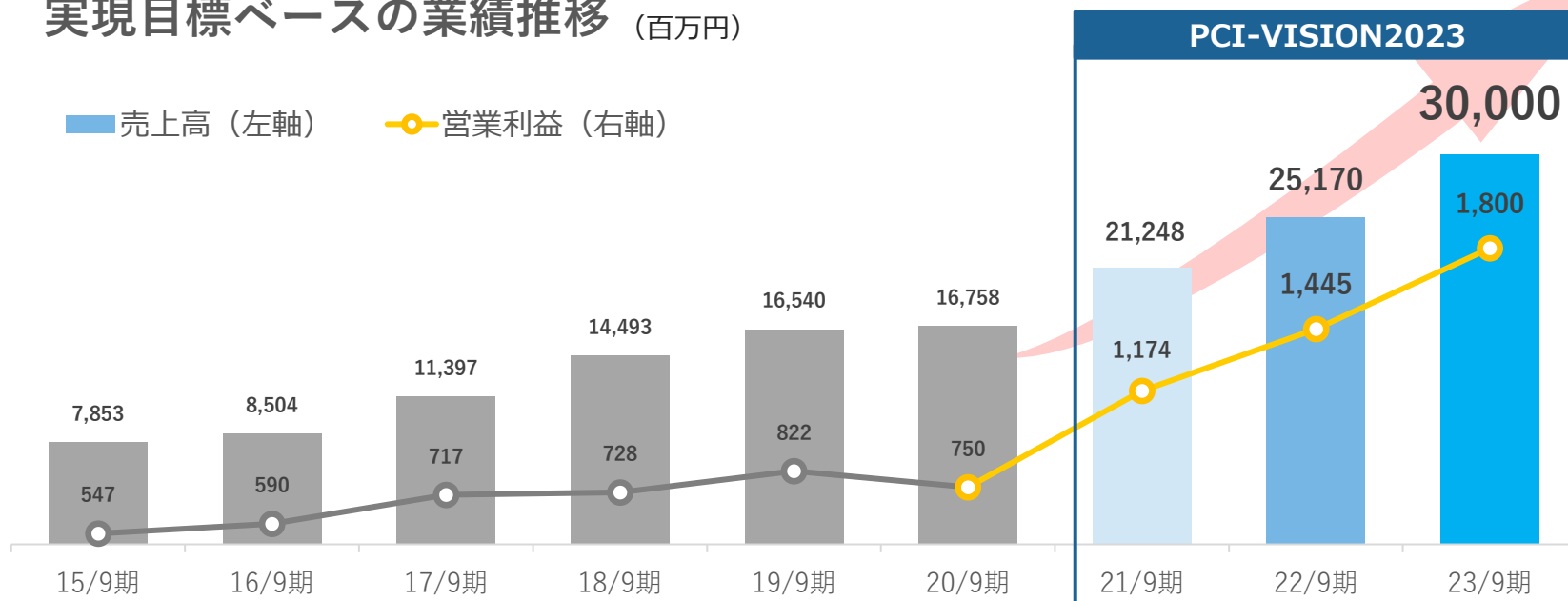
ビジネスソリューション  
ITサービス、IoT/IoE  
サイバーセキュリティ

M&A、業務提携、顧客ニーズに応える豊富な人財

# 中期経営計画目標値を挑戦目標から実現目標へ変更

- ・ 目標への挑戦で大きな飛躍へ→売上高300億突破を目指す！
- ・ 2021年1月のソードの完全子会社化により、売上高300億円、営業利益18億を「挑戦目標」から「実現目標」へ移行

## 実現目標ベースの業績推移 (百万円)



# 中期経営計画「PCI- VISION 2023」 定量目標



(百万円)	2021.9 実績	22/9期 実績	2023.9 計画
売上高	21,248	25,170	30,000
営業利益	1,174	1,445	1,800
親会社株主に 帰属する当期利益	669	643	1,070
1株当たり純利益 (円)	76.12	63.97	106.34
ROE	10.7%	8.5%	12%以上
連結配当性向	40.7%	48.5%	30%~50%
連結純資産配当率	4.6%	4.1%	4.0%以上

## ① システムエンジニアリングサービス事業の規模拡大・質的向上

→コロナ禍から需要は回復企業。スマートシティ事業への参入開始など、デジタル社会の先端案件獲得へ

## ② 最適な自社ブランド製品/ソリューション/サービスの創出

→AI等、先端技術の深耕およびワンストップソリューション提供体制の確立を進める

## ③ サイバーセキュリティ関連事業の推進

→「AppGuard®」の拡販、その他ソリューションラインアップの充実へ

## ④ 業務提携先との更なる連携強化及び積極的なM&Aの推進

→既存提携先との連携強化、および当社事業とシナジー創出が見込まれる企業の発掘、M&Aの推進

## ⑤ 組織体制の強化及び働き方改革の推進

→人財採用及び教育の強化とともに、働き方改革を推進

# PCI's SDGs



# 当社グループの取り組むSDGsの方針

- ・ 当社グループは I T をもって「**安心・安全・豊かな社会**」へ貢献し、事業活動と企業活動の両面から 4 つのテーマで SDGs に取り組みます。

## 安心・安全・豊かな社会



### 事業を通じた貢献

### 企業としての貢献

IoTでつながる社会が  
生み出す『安心・安全』

当社グループのネット  
ワークを生かした貢献

M&Aを通じた産業と  
技術革新の基盤づくり

蓄積された知見の提供  
による次世代育成



# 「安心・安全・豊かな社会」を目指して

- ・「安心・安全・豊かな社会」への貢献を基軸に続けてきた社会活動ならびに「2050年カーボンニュートラル」の実現に向けた取り組みを、これからも継続します

CSR

ESG

SDGs

2015

マザーズ上場

2016

東証一部上場

2017

2018

2019

2020

2021

2014.5 スポーツ振興、青少年育成

2014.9 国連WFPの支援

2016.1 非常時のアドホック通信ネットワークの活用に関する研究会

2016.12 Dolphin Breeding Projectの支援

2017.2 立教池袋中学校・高等学校数理研究部の活動サポート

2017.3 「熊本城災害復旧支援金」への寄付

2018.1 地方創生と人づくりを目的とした包括的 ICT 連携（山形県村山市）

2018.10 学生投資連合USIC 主催イベントへの参加・協賛

2021.2 ドローンを活用した太陽電池発電所の点検業務高度化の実験開始

2021.4 点字名刺プロジェクトの支援

2021.4 OpenVino™\*を利用した安心・安全なサービスに向けたAIによる車両検知開発

\*OpenVino™：Intel社が提供するインテルが提供するCPU、内蔵GPU、インテル®FPGA、インテル®Movidius™VPUといったさまざまなハードウェアでディープラーニング推論をより高速に実行するためのソフトウェア開発環境



# 当社のサステナビリティ課題への取組方針

当社は、サステナビリティを巡る課題への対応が経営の重要課題であると認識しております。今後もサステナビリティを巡る解決に向けた取り組みを積極的かつ継続的に実行することにより、持続可能な社会の実現と中長期的な企業価値の向上を目指しております。当社グループは、「企業理念」と「行動方針」を、サステナビリティ経営の基本方針と位置付けています。

	ESGの主要テーマ (重要課題)	関連する 主なSDGs	当社の取組 (方針/具体的取組)
 E Environment	地球温暖化対策 ／ 資源循環社会		■ITソリューションによる環境負荷低減への貢献 ・太陽光発電施設の点検効率化ソリューション ・電気自動車発展のためのソリューション ・スマートシティ事業への技術参画 ・生態系の保護のためのソリューション etc.
	安全で持続可能な社会		■ITを活用した安心・安全・便利な街づくり/人々の健康的な生活への貢献 ・後方車両検知ソリューション ・除雪状況監視ソリューション ・見守りソリューション ・健康リスク検知ソリューション etc.
 S Social	イノベーションと 経済成長		■研究開発/M&Aを通じた産業と技術革新の基盤構築 ・技術/ソリューション強化のための研究開発投資 ・先進技術協議会の設置/充実 ・様々なITニーズへの対応を可能にするためのパートナー戦略の推進
	雇用と人財活用		■蓄積された知見の提供による次世代人財の育成 ・学校/学生団体教育支援 ・IT技術・スキル習得支援による高度人財の育成（「人材育成方針」の策定） ・職場環境/働き方改革の推進（「社内環境整備方針」の策定） ・ダイバーシティ推進による全ての社員に平等な機会提供、育成、登用の実現
 G Governance	適正なコーポレート ガバナンス体制		■コーポレート・ガバナンスの充実 ・コーポレート・ガバナンスコードへの対応 ・リスクマネジメント/コンプライアンス（法令順守） ・適正な情報開示と透明性の確保 ・説明責任

# Company Profile



# 会社概要



商号	P C I ホールディングス株式会社 (PCI Holdings, Inc.)	資本金	20億9,189万円 (2022年9月末現在)
設立	2005年4月	売上高 (連結)	25,170百万円 (2022年9月期実績) 30,000百万円 (2023年9月期予想)
上場	東京証券取引所プライム市場 (証券コード: 3918)	営業利益 (連結)	1,445百万円 (2022年9月期実績) 1,800百万円 (2023年9月期予想)
所在地	〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目21-19	従業員数 (連結)	1,680名 (2022年9月末現在)
代表者	代表取締役会長 天野 豊美  代表取締役社長 横山 邦男	連結子会社	P C I ソリューションズ (株) (株) ソード (株) りーふねっと (株) シー・エル・シー (※) (株) プリバテック  ※2022年10月1日にP C I ソリューションズ (株) と合併

# 役員体制・拠点一覧

## 役員体制 (2022年9月30日現在)

役職	氏名	経歴等
代表取締役会長	天野豊美	日本エヌ・シー・アール(株)常務取締役 (株)しんきん情報システムセンター理事
代表取締役社長	横山邦男	(株)三井住友銀行常務執行役員法人部門副責任役員 三井住友DSアセットマネジメント(株)代表取締役社長兼CEO 日本郵便(株)代表取締役社長執行役員社長
常務取締役	堀部保弘	(株)三菱総合研究所執行役員ソリューション事業本部統括室長
常務取締役	岡丈嗣	(株)リーフネット代表取締役 一般社団法人 日本ユニファイド通信事業者協会 (JUSA)副会長
取締役	井口直裕	Profit Cube(株)経営企画室長 取締役経営企画本部長
取締役	杉園和也	Profit Cube(株)財務経理室長 取締役管理本部長
社外取締役 (常勤監査等委員)	宮原譲	トランスコスモス(株)システムソリューション本部長取締役
社外取締役 (監査等委員)	佐藤貴則	東京弁護士会副会長 やまぶき法律事務所代表
社外取締役 (監査等委員)	高原明子	三菱商事(株) ワンテッドリー(株)社外取締役 (監査等委員) (株)ビッドガーデン監査役
社外取締役 (監査等委員)	牧真之介	牧真之介公認会計士事務所代表 税理士法人MSパートナーズ代表社員

## PCIグループ拠点

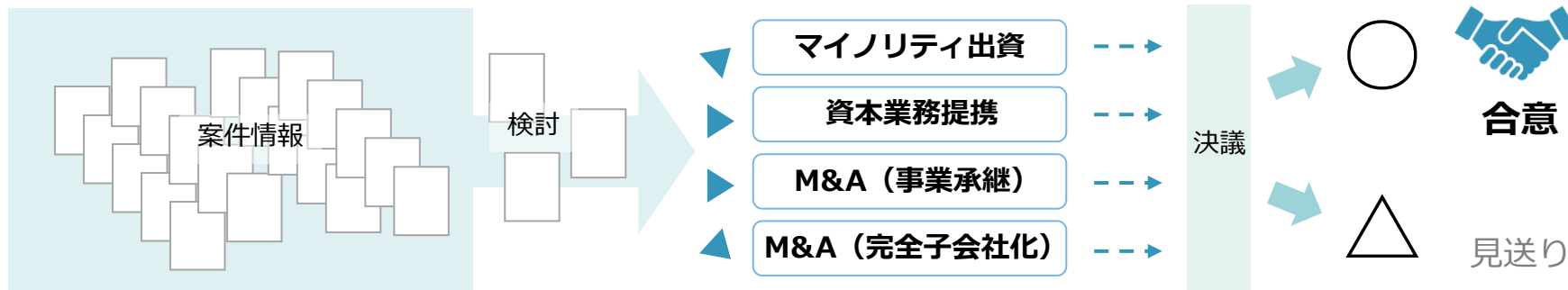


# Appendix



# M&A、パートナー戦略の考え方

- 中長期的な成長を見据えた「**先行投資**」としてパートナー戦略を推進
- **常時複数の案件**を進行し、積極的な資本参加を検討中



並行して複数の案件情報を  
取得、精査



# レスターホールディングスとの資本業務提携の経緯

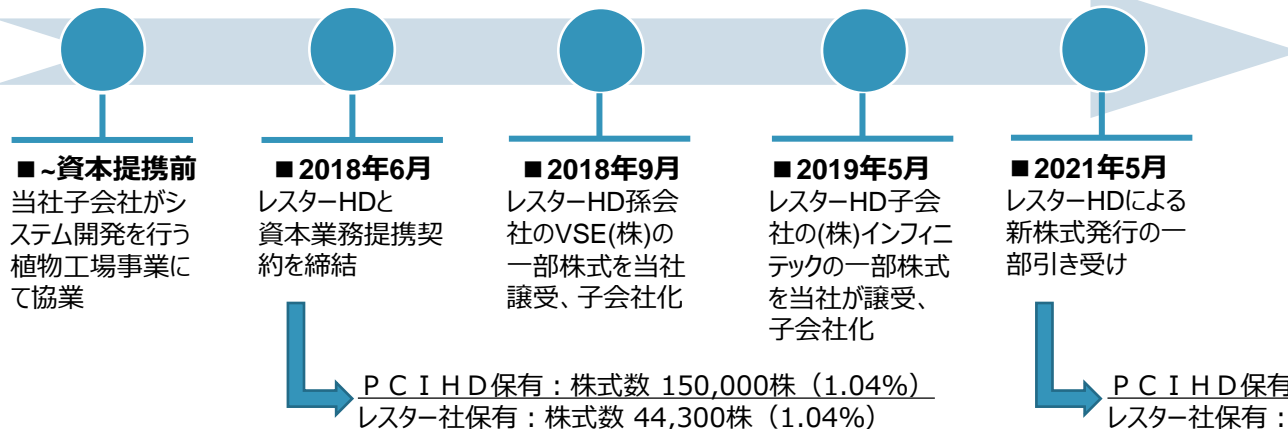
- 2018年にレスターホールディングスと資本業務提携契約を締結し「**共創協議会**」を設置
- ソフトウェア開発を得意とする当社グループと、半導体・ハードウェアに知見を持つレスターHDの「共創」により、**ITサービスのワンストップソリューションの確立**を目指す



レスターホールディングス



PCIホールディングス

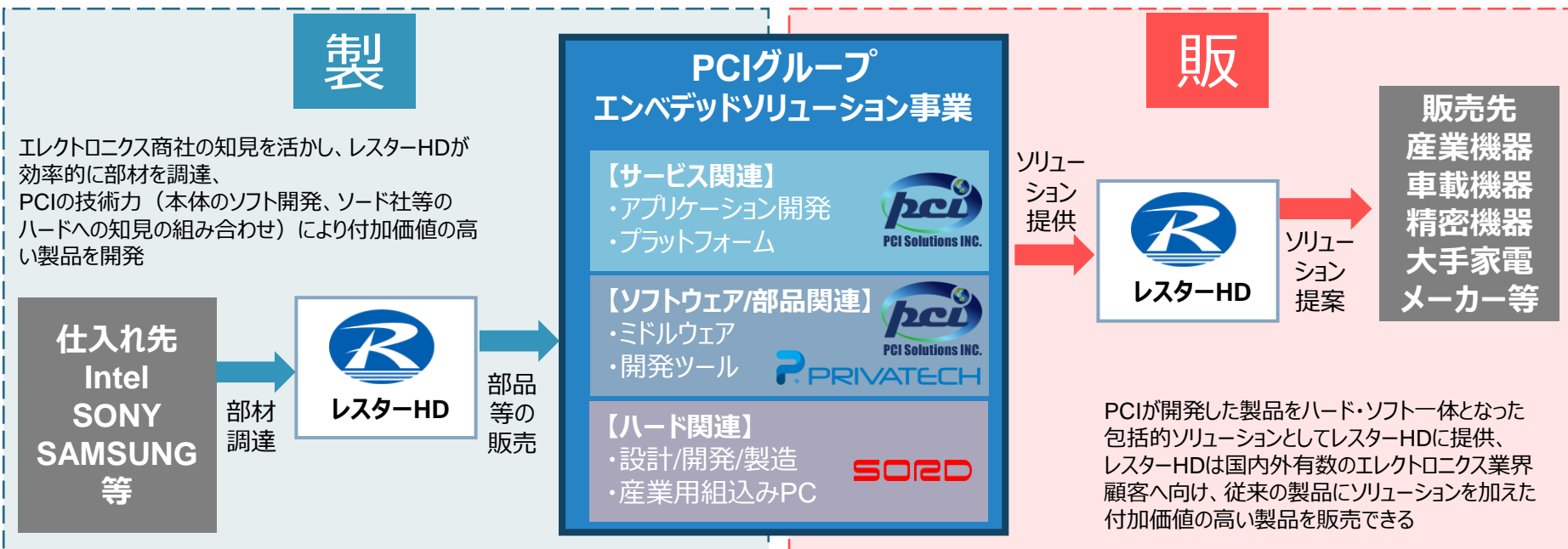


レスターHDとの  
緊密な連携で、  
「ワンストップ  
ソリューションの  
確立」を  
目指す

# レスターホールディングスとの協業による製販一体構想

- ・ エレクトロニクス商材に強いレスターHDより調達した部材をもとに、当社のソフト・ハードの知見を踏まえた高付加価値の製品を開発、レスターHDと繋がる国内外大手の販売先へ販売することで、製販一体のワンストップソリューションが可能となる

レスターHD社との協業により、製販一体のワンストップソリューション提供へ！





# YouTubeチャンネル「PCI NETWORK」



自社スタッフが制作・配信するYouTubeチャンネル。  
IRリリースの背景や事業内容、Q&Aやトピックスを紹介しております。



チャンネル登録、  
ご視聴はこちら  
[>> チャンネルへ](#)



本資料のいかなる情報も、弊社株式購入や売却などを勧誘するものではありません。

本資料に記載されている業績予想及び将来の予測等に関する記述は、  
資料作成時点での入手された情報に基づき弊社で判断した予想であり  
潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いかねますのでご承知おき下さい。

## <お問い合わせ先>

PCI ホールディングス株式会社 IR室 (阿部)  
E-mail : ir@pci-h.co.jp / 電話 : 03-6858-0536  
受付時間 : 9:00~17:00 (土・日・祝祭日除く)

IR動画はこちら→  
(または[コチラ](#)をクリック)



# *Positively, Change, Innovate*

～積極的に、変化と革新をし続ける～

